

東北大学大学院経済学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験制度の変更について（予告）

2017年9月15日

本研究科の博士課程前期2年の課程では、2018年度10月入学試験（2018年9月実施予定）から、以下の6点の制度変更をすることとしました。ここではその概要を予告します。詳細は2018年度10月入学及び2019年度4月入学の募集要項を公開する際（2018年4月下旬を予定）にご案内します。

1. 語学試験科目の「経済数学」を廃止します

2017年度まで実施していました入学試験では、語学科目について、「経済数学」と「英語」の2科目から1科目を選択する形式でした。しかし、昨今のグローバル化の状況に鑑み、2018年9月実施予定の入学試験以降は、「経済数学」は廃止とし、必ず「英語」を受験して頂くこととしました。「英語」の試験方法は従来と変わりません。つまり、TOEIC[®]テスト・TOEFL[®]テストのスコアを提出して頂きます。スコアの有効期限と提出期限も従来と変わらず、以下の表のようになります。

	スコアの有効期限	スコアの提出期限
2018年9月実施予定の試験	2016年7月1日以降に受験したものの	出願の期限(2018年8月初旬)
2019年2月実施予定の試験	2016年12月1日以降に受験したものの	出願の期限(2018年12月中旬)

計画的にこれらのテストを受験することを勧めます。

2. 専門試験科目の「会計原理」、「管理会計」、「財務会計」を廃止します

2017年度まで実施していました入学試験では、専門科目について、経済学・経営学の26科目の中から2科目を選択する形式でした。しかし、本研究科において、会計学に関する研究者の養成は会計大学院の会計リサーチコースで行うという体制が整ったことに伴い、博士課程前期2年の課程の入学試験では26科目の中の会計学に関する3科目を廃止することとしました。つまり、2018年9月実施予定の入学試験以降は、23科目の中から2科目を選択して頂きます。会計学の研究を希望する者は、会計大学院の会計リサーチコースを受験して下さい。他の専門試験科目に変更はありません。

3. 外国人特別選抜を一般選抜へ統合します

2018年9月実施予定の入学試験から、経済経営リサーチコースにおいては、外国人特別選抜を一般選抜に統合することとしました。ただし、外国人の方は、従来の外国人特別選抜とほぼ同じ条件で受験できる予定です。経済経営リサーチコースの募集人員は変更しませんので、この統合を原因として受験者に不利益が生じることはありません。本研究科では、この試験制度で引き続き多様な学生を募集していきます。なお、高度グローバル人材コースでは外国人特別選抜を一般選抜に統合しません。

4. 「3年次学生を対象とする試験」を廃止します

2017年度まで実施していました「3年次学生を対象とする試験」を廃止します。これは学部3年次生が学部を卒業せずに修士1年にいわゆる飛び入学をするための選抜区分でしたので、学部3年で早期卒業をする者は一般選抜を引き続き受験できますことを付言します。なお、会計大学院では「3年次学生を対象とする試験」は廃止しません。

5. 筆答試験免除制度を廃止します

2017年度まで実施していました入学試験では、「一般選抜」において、成績優秀者に対して筆答試験を免除する制度がありました。しかし、2018年9月実施予定の入学試験以降については、廃止することとしました。

以上